

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】平成20年12月4日(2008.12.4)

【公開番号】特開2006-135298(P2006-135298A)

【公開日】平成18年5月25日(2006.5.25)

【年通号数】公開・登録公報2006-020

【出願番号】特願2005-230619(P2005-230619)

【国際特許分類】

H 0 1 S 3/10 (2006.01)

H 0 1 L 21/027 (2006.01)

H 0 5 G 2/00 (2006.01)

H 0 1 S 3/227 (2006.01)

【F I】

H 0 1 S 3/10 Z

H 0 1 L 21/30 5 1 5 A

H 0 1 L 21/30 5 3 1 S

H 0 5 G 1/00 K

H 0 1 S 3/22 M

【手続補正書】

【提出日】平成20年10月20日(2008.10.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

出力されるレーザ光を短パルス化する手段と、エネルギーピーク値を示す発振スペクトルの発振を抑制する手段とを有する短パルス・マルチライン発振 C O₂ レーザ発振器と、

前記短パルス・マルチライン発振 C O₂ レーザ発振器から出力された短パルス化されたレーザ光を入力し、該レーザ光を増幅して出力する少なくとも 1 つの増幅器と、
を具備する極端紫外光源装置用ドライバレーザ。

【請求項 2】

短パルスレーザ光を出力する固体レーザと、前記固体レーザから出力された短パルスレーザ光を光パラメトリック発振させることにより広帯域化させる光パラメトリック発振装置とを有する短パルス・マルチライン発振レーザ発振器と、

前記短パルス・マルチライン発振レーザ発振器から出力されたレーザ光を入力し、該レーザ光を増幅して出力する少なくとも 1 つの増幅器と、
を具備する極端紫外光源装置用ドライバレーザ。

【請求項 3】

前記光パラメトリック装置によって広帯域化されたレーザ光を、前記少なくとも 1 つの増幅器の発振スペクトルに整合させるスペクトル整合器をさらに具備する請求項 2 記載の極端紫外光源装置用ドライバレーザ。

【請求項 4】

請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項記載の極端紫外光源装置用ドライバレーザと、
ターゲット物質供給手段と、
前記極端紫外光源装置用ドライバレーザから出力されたレーザ光が、前記ターゲット物質供給手段から供給されるターゲット物質を照射するように、前記レーザ光を導光する

光学系と、
を具備する L P P 型極端紫外光源装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

上記課題を解決するため、本発明の1つの観点に係る極端紫外光源装置用ドライバレーザは、出力されるレーザ光を短パルス化する手段とエネルギーピーク値を示す発振スペクトルの発振を抑制する手段とを有する短パルス・マルチライン発振 C O₂ レーザ発振器と、該短パルス・マルチライン発振 C O₂ レーザ発振器から出力された短パルス化されたレーザ光を入力し、該レーザ光を増幅して出力する少なくとも1つの増幅器とを具備する。